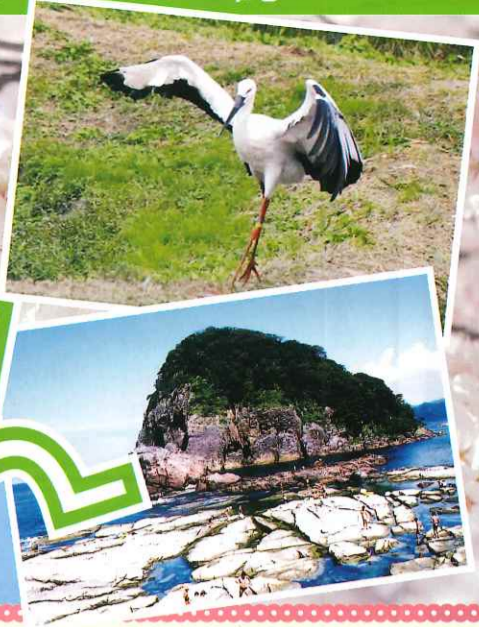


第17号
2010.03



たじま 夢つうしん



但馬理想の都の祭典

20周年キャンペーン

但馬理想の都の祭典20周年(2014年)に向けて

はばたく但馬 確かな未来へ

ぼくらは、
但馬応援隊!
「但馬はええところだぞ」横らと
一緒に但馬を応援しようよ。
但馬夢テーブル委員会

但馬各地のキャラクタ一連、いくつ知ってました?
今回、25人のキャラクタ一連が、但馬の元気づくりを応援します。

但馬夢テーブル委員会は、但馬PR缶バッジ活動を通じて但馬の魅力発見、発信に取り組んでいます。
但馬夢テーブル委員会は、祭典20周年記念キャンペーン推進委員会の一員として地域機運を盛り上げる活動に取り組んでいます。

但馬夢テーブル委員会

但馬のゆるキャラ達

当時(大但馬展)の様子



四季彩94 オープニングイベントの様子



ホープフラッグ(大但馬展)の様子

(神戸新聞社写真提供)



「但馬・理想の都の祭典」から15年が経過し、当時21万人の但馬の人口は18万人に減少。高齢化率は県下で最も高い地域になり、いわゆる「小規模集落」も県内の半分近くを占めるなど、様々な地域課題を抱えています。

このような但馬地域の課題解決や新たな可能性への挑戦には、但馬人と交流人の更なる参画と協働による地域づくりを担う住民力の向上が不可欠であります。

平成26年度は「但馬・理想の都の祭典」から20周年を迎える大きな節目の年であり、これを一つの契機として、但馬の人々が心を一つに、再び多くの交流人を迎えて一大ムーブメントを起こしたいと思っています。

そんな気持ちを昨年の10月に開催された「兵庫未来フォーラム」及び12月に開催された「但馬地域夢会議」において井戸知事に提言させていただくなど、但馬を愛する多くの人々とともに官民あげた取り組みを展開したいと願っています。

第5期但馬夢テーブル委員会
委員長 藤原 進之助



夢ある田舎暮らし応援隊 ～一年間活動してきたと思うこと・2年目への抱負～

夢ある田舎暮らし応援隊の活動は幅と奥行きは深さは抜群だと思います。高齢化、人口の減少化の中で如何にそれをくい止め、その進展のスピードを下げるという意味で私たちの活動は時代の動向にマッチしていると思います。但馬の行政機関でも具体的な動きが出てきていますが、私たちは行政の手の届かない部分にNPO的な活動を通じて相互補完的な機能を発揮していきたいと思っています。今後は、具体的な田舎暮らし応援隊の活動に入り、試行錯誤を重ねながら一步一步ノウハウを積み重ね、田舎暮らしの第1号を誕生させるよう誠心誠意努力していきます。情報のネットワーク化が一つの鍵になりますので、田舎暮らしの様々な情報をお寄せ下さい。



リーダー [増田 征夫]

小規模集落元気村プロジェクト ～一年間活動してきたと思うこと・2年目への抱負～

昨年、長寿の郷ふるさと庵にて「但馬元気村サミット」を開催しました。但馬の小規模集落の代表者に集まっていただき、集落の取組状況や意気込み、悩みなどを話し合っていました。それぞれの地域の実情に合った活動報告、意見交換など短時間ではありましたが参加集落も多くの収穫を得ることが出来たと思います。今後も機会があれば第2回、第3回と開催したいと思います。

村は小さくともそれなりに素晴らしい魅力がたくさんあると思います。自然の少ない都市の方々との交流によって、新しい発見もあります。今後も「自然豊かな但馬ここにあり」「元気集落ここにあり」と、小さいながらも大きな村の夢を見たいと思います。



元気村サミットの様子

リーダー [森 弘之]

次世代ネット ～TUBOMI本舗、開店しました!～

平成22年2月20日・21日の2日間限定で、次世代チャレンジショップ「TUBOMI本舗」がオープンしました。手作りの雑貨や、アクセサリ、革製品、焼き菓子といった多様で魅力ある商品と、多くの人の活気が生まれ変わった空き店舗を埋め尽くしました。2日間で延べ1000人超というお客様の数も完全に予想以上で、次回の開催を臨む多くの声を頂きました。

頑張っている若者をバックアップしていく事で、但馬の活性化に繋がりたいとの我々のグループの想いが、まさにここから広がっていくものと信じ、2年目への決意を新たにしているところです。但馬にもまだまだ素晴らしい技や熱い想いを持った若者が沢山います。彼らの活動に是非ご期待ください。



リーダー [花房 靖裕]

夢プログラム
「TUBOMI本舗」

平成22年2月20日(土)21日(日)に、豊岡市宵田商店街の旧田中利久園で「TUBOMI本舗」が開店しました。地域活性化の一環として空き店舗を利用した期間限定の出店で、但馬出身の若者を中心に出店者を募りました。新聞社を中心とした各メディアにも取り上げられ、反響は大変大きいものになりました。

但馬の民家探訪 ～一年間活動してきたと思うこと・2年目への抱負～

活動も数回しか出来なく、もう1年過ぎたのかと言うのが正直な感想です。委員同士の意志疎通も十分でなく、反省点も多々あります。けれど、今年目標の一つであった「但馬の庭園を見よう」ということで10月に実施した出石の宗鏡寺の庭園の素晴らしさには、但馬にもこんな良い庭園があったのかという想いを抱きました。

2年目は、古民家を活かして営業されたり、施設として活用されている所なども見て廻れたらと思っています。

そして、古民家の活用法なども考えていけたらと思っています。また、但馬地域以外の民家も見学して但馬の民家の違いなどを勉強したいと思っています。



リーダー [谷岡 洋介]

但馬の自慢話発信隊 ～一年間活動してきたと思うこと・2年目への抱負～

但馬夢テーブル委員会に参加させていただいて、早や1年が経とうとしています。1年目でもリーダーという重責に悩んだ時期もありましたが、経験豊富な諸先輩方やグループメンバーの皆さんに支えられ何とかここまでやってきました。

先日、但馬夢プログラムの一環として「たじまジオ写真展～見ようよ!知ろうよ!応援しようよ!山陰海岸ジオパーク～」を開催致しました。たくさんの方にご来場いただきメディアにも多く取り上げられ盛況の内に幕を閉じることができました。感謝感謝です。これからも我々県民目線でこの但馬を盛り上げていく活動ができればと考えます。宜しくお願い致します。



リーダー [浮田 喜弘]

「ジオパーク写真展～見ようよ!知ろうよ!応援しようよ!山陰海岸ジオパーク～」

山陰海岸ジオパークの世界認定に向けた応援企画第1弾として、但馬の自慢話発信隊がコープ豊岡店のウェルカムコートをお借りして平成22年2月22日(月)～28日(日)までジオパーク写真展を開催しました。アマチュア写真家、下雅意氏が撮影した写真展示を中心に、浜坂東小学校さんのご協力のもと「ボクとワタシのジオパーク」と題して児童自らが調べ作成したガイドブックなどの資料を展示しました。玄武洞の玄さんも応援に来てくれました。新聞社を中心に広くメディアにも取り上げられました。



但馬パープルネット

～一年間活動してきて思うこと・2年目への抱負～

最初の内は、私自身リーダーという大役の経験がなく、グループの検討会でもなかなか取り仕切ることができずに毎日が不安でした。しかしメンバーの皆さんが支えてくれたお陰で今までの活動で成功を取めることができたのだと思います。

僕たちのグループは全ての人に楽しんでもらう事をモットーとし、今までの活動でも皆さんが笑顔で参加された時の顔を鮮明に思い出します。その笑顔を見る度に、いろいろな人に支えられていることのありがたさを感じています。

まだまだ不慣れではありますがメンバー一同、皆さんに一生懸命楽しんでもらうように努めますので、これからも宜しくお願いします。

- 私たちは、依頼があれば現地へ赴き、活動を行う【出前公演】というものを行っています。興味のある方ご連絡ください!



リーダー [栗田 弘儀]

森・川・海の循環

～一年間活動してきて思うこと・2年目への抱負～

森・川・海の自然環境をテーマに様々な意見をいただきながら議論を重ね、2回の交流会や研修を交えてやっと但馬の川にまつわる環境調査に絞り込み活動方針を見出したところでした。広い但馬の各地から集まっていたというメンバーなのでなかなか全員が集まる機会ができませんが、来年度は何とか成果を見たいと切望しています。

11月の味原川清流会の皆さんと奉仕作業は地元の方々が地域の資源を大切にされていることに感動し、12月の竹野スノーケルセンター・本庄四郎先生の深い自然への取り組みには感服させられる思いでした。

私自身、忙しい身ながらリーダーとして活動しておりますが、来年度は皆さんにご参加いただけるような事業を行っていきたく思いますので、活動を行う折には、ご協力の程宜しくお願い致します。



清掃活動の様子

リーダー [杉山 隆一]

但馬の食再発見

～一年間活動してきて思うこと・2年目への抱負～

突然ですが、「どぎ」という魚をご存じですか?お頭付きの「サバ寿司」は?さなほり・いのこの餅は?

私にとってこの1年は当たり前の「食」に立ち止まり、消えかけている「食文化」を見つける、まさに「食の再発見」でした。

思いがけず「食グループ」のリーダーという大役を頂いて早1年が経とうとしています。何が何やらわからず出来ずの頼りないリーダーですが、メンバーの皆さんに助けて頂いたお陰で活動を続けることができました。ありがとうございました。

グループ活動としては、連日連夜「すぐろく&カレンダー」製作に奮闘中です。メンバーの皆さんそれぞれに、色々な形で参加し協力し合い進めています。

さて、2年目!「食グループ」は外へでて行ければと思います。講演会、ワークショップ、仲良く楽しく、食を味わい、学んで行けたらと思います。

最後にこの一年で素晴らしい出会いと共に、様々な価値観や但馬への深い郷土愛を教えてくださいました。異なる世代や立場の方々が、同じ目標を持ち意見を交換できる貴重な場に参加できることに感謝しています。2年目もたくさん勉強させてもらいたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いします。



カレンダー作成の様子

リーダー [上根 千佳]

夢プログラム
「旬カレンダー・食スゴロク」

食育教材としての活用を目的とした「旬カレンダー・食スゴロク」。旬カレンダーは四季毎、月毎で採れる野菜などを調べ記載したり、食スゴロクは但馬各地の特産と歳時記などを組み合わせ、楽しく遊べると同時に自分が住んでいる地域の魅力を子供のみならず、大人も再発見できるような仕様になっています。

ゆめ防災福祉

～一年間活動してきて思うこと・2年目への抱負～

私たち「ゆめ防災福祉」グループは、この一年間さまざまな体験を通して災害時における福祉のあり方について学んできました。特に今年度は要援護者(身体・知的障害、妊婦、幼児、外国人等)にスポットをあて、身近な所で出来ることなどを議論、体験してきました。また地域の防災についての実態を知りたいという思いからアンケートを作成しました。対象者への配布はまた行えていませんが、自分たちで考え、たくさんの方からご意見をいただき、完成させました。集めた情報を出来る範囲で公開し、但馬地域の防災に役立てて欲しいと思っています。

第5期も2年目へ突入します。私たちのグループは2年目「人の命」について考え、そして行動していきます。



リーダー [小島 義明]

「いなか暮らし塾」というフィールドを持っています。都市と田舎を結ぶ「仲人」を自任しているんなことをやっています。是非紹介したいことがあります。果樹園の1本オーナーを募ることで。知り合いのりんご園とゆず園が後継者がなくて困っています。どちらも立派な実をつける果樹園です。1本オーナーを募って農家に面倒を見てもらう、収穫物はオーナーにという仕組みです。汗をかいて世話をし、年貢も少し負担いただくことで果樹園を維持、継続させようとの発想です。私たちといっしょに、家族でグループで収穫の時を想像しながらいい汗を流して、自然と環境を守ることにもつながら活動に加わってみませんか。



「いなか暮らし塾 塾長」
夢ある田舎暮らし応援隊
[西垣 憲志]

10年前の2月に40年間勤務した神戸のゴム会社をリタイヤし、八鹿町にUターンして参りました。

生まれた故郷にご恩返しのご真似事でもとボランティアを思いつきました。

旧八鹿町で老人福祉の拠点として小学校区毎に「ふれあい倶楽部」というのがありますが、ここでお年寄りのお世話をさせて頂いたのを手始めに、今では地区の防犯委員として学童の送迎や養父市の高齢者囲碁同好会のお世話等をさせて頂いています。

また、昨年「こころ豊かな人づくり500人委員」の11期生として、青少年の健全な育成のための勉強をしています。

変わったことといえば一昨年から市主催のメンズクッキングスクールに通って料理の勉強をする等、人とのふれあいを大切に余生を楽しんでいます。



但馬夢テーブル委員
ゆめ防災福祉グループ
[米田 卓夫]

私の 課外活動

公と民の支援組織として、また何か自分たちで出来ないか?と言う女性達の声が大きくなって、平成20年11月に“やぶ市女性未来会議”が、男女共同参画センターを起点に設立されました。

自分たちが出来る身近な事からまず取り組んで行くと、それまでセンターが行っていた若者広場・老化防止体操・子育て支援事業に加えて、エコ運動・まちの寺子屋・日本語教室などを始めました。全てが手探りの中、会員の皆さんの協力で行っています。

昨年の8月には、「女性模擬議会」を開催しました。21名の模擬議員、その内6名が質問となりました。私もその中の1人として質問に立ちました。1人1人が自分たちの身近な問題を提案し当局も真剣に討議していただき、とてもいい経験をさせていただきました。これからもゆっくりと活動の場が広がればと思っています。



「やぶ市未来女性会議」
但馬パープルネット
[澤瀉 洋子]

みなさん、こんにちは。副委員長の宮垣です。

今回は、但馬が大好きな私が課外活動と称して取り組んでいる各種の活動についてご紹介します。

まずは、「カバンストリート」。地場産業の「カバン」を活用して商店街の活性化を図るというユニークな活動をしている商店街のことで、私もメンバーの一人として活動しています。

「豊岡市地産地消の会」、「豊岡・食と農の懇話会」といった会にも参加し、地域の食のこと・農業のことなどを定期的に学んでいます。

また、コウノトリガイドとして依頼があれば、コウノトリ郷公園で旅行者にガイドも行っています。

いずれの活動も、ユニークで魅力的な方々が沢山おられ、楽しいし、刺激になります。魚釣りや鮎獲り、山菜獲りなども大好きで、最近3月1日の溪流解禁日を指を数えて待っています。溪流歩きはダイエットにもいいので一石二鳥ですね!

最近ゴルフも始めましたが、まだまだ精進が必要そうです(笑)



次世代ネット・
夢ある田舎暮らしグループ
[宮垣 健生]

OB委員から現役委員へ

「第5期委員会、OBみんなで盛り上げて行きましょう」

第1期但馬夢テーブル委員会 委員長 高宮 浩之

但馬夢テーブル委員会の活動指針となる、「但馬地域ビジョン」は平成13年に策定されました。21世紀は但馬の時代という大きな夢を持ち、2010年から2015年頃を目安に作り直しましたが、夢テーブル委員会も5期目となり、当時目標としていた2010年代に突入しています。

先日次世代ネットが運営されている但馬チャレンジショップ「TSUBOMI本舗」を見に行きましたが、行列が出来る人気ぶり。活動に対する地域の大きな期待と可能性を感じました。新聞やインターネットでも取り上げられ、多くの人が活動に興味を持ってもらえたと思います。参画と協働という難しく思うけど、自分達が興味を持っていること問題意識があることを人任せにするのではなく、自分達の手で出来ることからやっていく。それが活動の基本だと思います。但馬理想の都の祭典20周年へ向けたキャンペーンも展開されるとのこと。但馬夢テーブル委員会で取り組むのにぴったりな素晴らしいアイデアですね。現役の皆さんとOBもみんな一緒になって取り組んでいきましょう。

「新時代にふさわしい活動を」

第2期但馬夢テーブル委員会
副委員長 田中 晶



早いもので、但馬夢テーブル委員会も第5期目を迎えた。その任期満了時には委員会誕生から10年が経過したことになる。

取り組みの方法は「この指とまれ」方式が続いている。印象は「墨上にランナーはたまると、なかなか点に結びつかない」、「クラブ・同好会活動的」といったところか。

つまり、委員会事業の意味・意義は色々あるだろうが、委員の方々は長期的な展望をしっかりと描いて欲しいということ。また、所属以外の事業に理解と積極的な参加をお願いしたい。

ご承知のように、地方は今後ますます多くの困難な課題に取り組む事になる。歴史の歯車は一つ回った。自己を磨き、新しい視点と発想と方法を付け加えていって欲しい。

お知らせ

山陰海岸ジオパーク ケイタイスタンプラリー

【開催期間】 3/5(金)～5/9(日)
【開催場所】 山陰海岸ジオパークスポット

- 玄武洞公園(豊岡市)
- 道の駅神鍋(豊岡市)
- 海の文化館(香美町)
- 城崎温泉(豊岡市)
- 山陰海岸ジオパーク館(新温泉町)

淡路花博2010 花みどりフェア

【開催期間】 3/20(土)～5/30(日)
【開催会場】 淡路夢舞台・国営証海峡公園

●但馬夢テーブル委員会に関するお問い合わせは下記までご連絡ください●

〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町7-11 但馬県民局内 但馬夢テーブル委員会事務局(総務室地域企画課)

TEL:0796-26-3615 FAX:0796-24-7490 URL:<http://web.pref.hyogo.lg.jp/area/tajima/vision.html>